注釈一覧表

※ 1	市庁舎が分散していた時には、各課等が会議に利用していたが、新庁舎の建設により、その利用がなくなった。 センターの設置目的が広まったため、より目的に沿った市民団体の利用が活発になり、民間企業等による曖昧な目的での使用が減少した。
※ 2	協議会に諮る事案がなかったため。
※ 3	予算の範囲内での実施のため。
※ 4	予算の範囲内での実施のため。
※ 5	予算の範囲内での実施のため。
※ 6	予算の範囲内での実施のため。
※ 7	予算額に基づき、補助金の上限額で按分し、支援団体数を決定した。(予算額 50 万, 上限額 10 万)
※ 8	建築及び改築時期の延期により。
※ 9	申込み件数の減少により。
※ 10	申込み件数の減少により。
※ 11	各課の実施講座が見込みほど増えなかった。
※ 12	建設費に入札差金が生じた。
※ 13	建設費に入札差金が生じた。
※ 14	鈴鹿サーキット国際レーシングコース改修のため中止。
※ 15	事業予定地の水没により中止。
※ 16	設計委託料及び建設費に入札差金が生じた。
※ 17	予算不足のため。
※ 18	予算不足のため。
※ 19	地権者との交渉難航。
※ 20	19年度実施計画を見直し、発掘調査を実施して、土工を21年度以降に実施することとしたため。
※ 21	入札に伴う落札差額による。

※22	工事の一部を順延したため。
※23	入札に伴う落札差額による。
※24	個別の啓発に重点を置いたため。
※25	市民への周知が不足していたため。
※26	目標値は年間の稼働日数。休日が1日多かったため。
※27	計画時に予定していた2期事業地の発掘調査が一部不要になり、事業費が減少したため。
※28	Suzuka-ECO2プロジェクト開始が平成21年度となったため。
※29	経済情勢の悪化によりカーシェア-自動車購入者が減少したため。
※30	平成20年度は追加調査にとどまったため。
※31	経済情勢の悪化により住宅建築が減少したため。
※32	搬入量が予想より少なかったため。
※33	工事進捗状況による。
※34	事業の受け皿となる医療機関が欠如しているため。
※35	訪問を行う保健師の体制が欠如しているため。
※36	地域密着型サービス拠点となる施設を公募したところ、応募が3施設にとどまったため。
※37	講演会会場をふれあいホール（定員200人）としたため。
※38	予算が50千円しかなく、1講座しか実施できなかった。
※39	予算不足のため、遊具設置工事を行わなかったため。
※40	補修工事に対応しなければならない事例がなかったため。
※41	平成21年度に繰り越しをしたため。
※42	貸主と借り手の条件不一致のため。
※43	平成20年度は4箇所を増加を目標としていたが、直売所等を設立する生産者が経費面で調整がつかず、2箇所の増加にとどまったため。
※44	平成19年度用地取得が完了したため。
※45	平成19年度で白子漁港の浚渫が完了し、平成21年度以降の工事实施のため/深浅測量及び土質分析を行ったため。

※46	年間2組合の設立に向けて説明会等を進めているが、各地域の事情により設立環境が整わなかったため。
※47	平成19年度まで消費者と生産者の交流会を開催し、消費者ニーズを把握した上で、平成20年度から市内産品開発支援にシフトした。そのため、平成20年度の交流会開催数は0回となった。
※48	実績値は、毎年度鈴鹿サーキットで開催されるモータースポーツファン感謝デーで、鈴鹿モータースポーツ市民の会が実施するイベント動員数を採用している。しかし、鈴鹿サーキット国際レーシングコース改修のため、モータースポーツファン感謝デーが開催されなかったことから、実績値が把握できなかった。
※49	熱気球に関する観光客数はイベント時晴天のため前年度より増加したものの、市内全体の観光客数は市内観光施設の入込数が伸び悩んだため減少した。
※50	参加企業がないため。
※51	国補補助事業であるが当初要望額より減額交付決定されたため目標数値の達成が出来なかった。
※52	県単事業による事業費が変更したため。
※53	地元要望件数が少なかったが、1件あたりの事業費が高かったため、計画額を上回った。
※54	県営事業による事業費および事業期間が変更したため。
※55	県営事業による事業費および事業期間が変更したため。
※56	1件あたりの事業費が高かったため。
※57	適正化事業による工事実施年度が変更したため。
※58	県営事業による事業費および事業期間が変更したため。
※59	県営事業による事業費が変更したため。
※60	県営事業による事業費が変更したため。
※61	県営事業による事業費および事業期間が変更したため。
※62	事業用地取得の難航による。
※63	事業用地取得の難航による。

※64	事業用地取得の難航による。
※65	事業用地取得の難航による。
※66	歩道整備事業進捗のため。
※67	予定箇所の変更及び事業費減のため。
※68	補償交渉に不測の日数を要し、年度内の完了が見込めなくなり、平成21年度へ事業繰越を行なったため。
※69	補償交渉に不測の日数を要し、それに伴い工事の年度内完了が見込めなくなり、平成21年度へ事業繰越を行なったため。
※70	広報、CNS等を通じて事業のPRを実施しているが、除却後に再度整備に要する費用に余裕がないこと等により積極的な除却に取り組んでいただけない。
※71	事業費の大きな運動広場の申請が連続していたため、事業費が賸えず4件で打ち切った。
※72	平成19年度までに前倒しで実施し、平成20年度の5戸で段差解消・手摺設置は完了した。
※73	地権者の仮同意が進まないため。
※74	県水受水開始時期及び受水量の変更決定の延期に伴う。
※75	県水受水開始時期及び受水量の変更決定の延期に伴う。
※76	テーマを絞ったことによる応募校の減少。
※77	本事業と同様の内容の取組を別事業で実施したことによる。別事業での相談実績は131回である。
※78	厳しい財政状況により、増改等の事業が延期された。
※79	平成20、21年度事業による繰越配分の変更による。
※80	応募校の減少。
※81	厳しい財政状況により、増改等の事業が延期された。
※82	全災害への指揮支援隊出動が望ましいが、人員不足により隊編成ができなかったため。
※83	予算不足のため。
※84	平成20年度目標値3台のうち軽車両1台を平成21年度に計画変更、予防広報車1台を平成19年度に更新したため。